



日経 NIKKEI
SDGs
FESTIVAL
OTEMACHI
MARUNOUCHI
YURAKUCHO
AUTUMN

日経 SDGsフォーラム シンポジウム

P R O G R A M

日時 2020年 9月1日(火) 10:00-18:00

主催/日本経済新聞社 日経BP メディアパートナー/FINANCIAL TIMES

後援/内閣府 外務省 経済産業省 環境省 日本経済団体連合会

協賛/住友林業 キリンホールディングス 東京センチュリー 三菱UFJフィナンシャル・グループ 野村アセットマネジメント AGC

サントリーホールディングス アサヒグループホールディングス 大和証券グループ MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス

セブン&アイ・ホールディングス 大和ハウス工業 ソフトバンク セールスフォース・ドットコム

協力/日経ESG経営フォーラム 特別協力/三菱地所

※講演者・講演内容・タイムスケジュールは事前の予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

10:00-10:30

基調講演

テーマ「ポストコロナに向けた『緑の復興(グリーンリカバリー)』」

中曾 宏氏 大和総研 理事長



1978年 日本銀行入行。1997年 信用機構課長、2003年 金融市場局長、2008年に日本銀行理事、国際決済銀行(BIS)市場委員会議長などを歴任。2013年 日

本銀行副総裁を経て、2018年 大和総研理事長に就任(現職)。2019年、東京国際金融機構(FinCity. Tokyo)会長就任。

10:30-11:00

基調講演

テーマ「国連創設75年を目前にしたSDGsと軍縮 日本の果たす役割とは」

中満 泉氏 国際連合 事務次長・軍縮担当上級代表



2014年から国連開発計画(UNDP)総裁補・危機対応局長を務めた後、2017年5月1日に国連事務次長 兼 軍縮担当上級代表に就任。国連内外で多くの要職を務め、国連平和

維持活動局のアジア中東部長(2012~2014年)と、政策・評価・訓練部長(2008~2012年)を歴任。直近では2016年と2017年に「難民と移民に関する国連サミット」のフォローアップを担当する

特別顧問代行を務めた。1963年生まれ。米国ワシントンDCのジョージタウン大学外交大学院で修士号、早稲田大学から法学士号をそれぞれ取得。既婚で2人の娘がいる。

11:00-11:30

企業講演

テーマ「大和証券グループ×SDGs ~サステナブルな社会の実現に向けて~」

中田 誠司氏 大和証券グループ本社 代表執行役社長CEO



1983年 早稲田大学政治経済学部卒、大和証券入社
2007年 大和証券グループ本社 執行役
2009年 同社 取締役
2015年 同社 専務執行役(大和証券 専務取締役)

2016年 同社 代表執行役副社長 COO(大和証券 代表取締役副社長)
2017年 同社 代表執行役社長 CEO(大和証券 代表取締役社長)

11:30-12:30

対談

テーマ「ポストコロナ SDGsの推進と企業家精神」

伊藤 邦雄氏 TCFDコンソーシアム会長/一橋大学CFO教育センター長



1975年一橋大学商学部卒業。一橋大学大学院商学研究科長・商学部長、一橋大学副学長を歴任。中央大学大学院戦略経営研究科特任教授。商学博士(一橋大学)。経済産業省プロジェクト「持続的成長への競争力とインセンティブ~企業と投資家の望ましい関係構築~」では座長を務め、最終報告書(伊藤レポート)は海外でも大きな反響を呼び、その後の日本の

コーポレートガバナンス改革を牽引した。経済産業省「コーポレート・ガバナンス・システム研究会」委員、内閣府「未来投資会議・構造改革徹底推進会合」委員、東京証券取引所「企業価値向上表彰制度委員会」委員長、経済産業省・東京証券取引所「DX経営銘柄」選定委員長、日本取締役協会「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー」選考委員、経済産業

省「グリーンファイナンスと企業の情報開示の在り方研究会」(TCFD研究会)座長、経済産業省「SDGs経営・ESG投資研究会」座長、経済産業省「環境イノベーションファイナンス研究会」座長、経済産業省「Society2.0時代のデジタル・ガバナンス検討会」座長、IIRC・GAN(Governance and Nomination)委員会委員などを務める。



岩城 裕一氏 南カリフォルニア大学 医学部 教授/メディシノバ 社長

南カリフォルニア大学医学部泌尿器科学、外科学、病理学教授。1992年より移植免疫学・免疫遺伝学研究室ディレクター。取締役会長として創業設立より事業開発、資金調達等、事業全体の統括を支援。2005年9月より社長及びCEOに就任。米MediciNova, Inc.代表取締役社長兼CEO（最高経営責任者）。

日本大学医学部、九州大学の客員教授を歴任し、現在は東邦大学の客員教授を兼任。南カリフォルニア大学医学部にて教鞭を執る以前は、1989年から1991年にかけてピッツバーグ大学医学部外科学・病理学教授を歴任。論文審査のある学術専門誌に200件以上の論文、ならびに40冊以上の本の執筆をてがける。

20年以上にわたり研究および投資戦略に関して、(旧) 山一証券、ジャフコ、日本政策投資銀行などの顧問を務めると共にアヴィジェン社、バイオアレー・ソリューションズ社などバイオテクノロジー企業数社の取締役を歴任する。札幌医科大学卒業。同校より医学博士号修得。

●モデレーター



酒井 耕一 日経ESG 発行人

1988年早稲田大学卒業。同年日経マクロウヒル（現・日経BP）入社。日経ベンチャー記者、日経ビジネス記者、ニューヨーク支局長、日経ビジネス副編

集長、日経情報ストラテジー編集長、Nikkei Asian Review Managing Editor、日経ビジネスBasic編集長、日経ビジネス発行人などを経て現職。

13:30-14:00

企業講演

テーマ「**インパクト投資を通じたSDGs課題の解決**」



中川 順子氏 野村アセットマネジメント CEO 兼 代表取締役社長

1988年 野村證券（現・野村ホールディングス）入社。支店勤務の後、人事部、投資銀行部門、財務部門を経て、2004年に一度退社。2008年野村ヘルスケア・

サポート&アドバイザリーに復職、同年代表取締役社長に就任。2010年 野村ホールディングス Co-Deputy CFO、2011年執行役財務統括責任者、2013

年グループ・インターナル・オーディット担当執行役員、2017年野村アセットマネジメント執行役専務を経て、2019年4月より現職。神戸大学卒。

14:00-14:30

企業講演

テーマ「**再生可能な資源である『木』を活かし、持続可能で豊かな社会に貢献する**」



光吉 敏郎氏 住友林業 代表取締役 執行役員社長

1985年 早稲田大学卒業。同年 住友林業入社。アメリカ、ニュージーランドと2回の駐在経験を経て、2008年海外事業本部海外開発部長、10年執行役員 海外事業

本部 海外事業部長、翌11年常務執行役員 海外事業本部長と、長く海外事業に携わる。14年取締役常務執行役員 住宅事業本部副本部長、15年住友林業ホームテック

の代表取締役社長を務め、18年取締役専務執行役員 住宅・建築事業本部長を経て、20年4月より現職。

14:30-15:30

対談

テーマ「『**論語と算盤**』から考える企業経営のあり方」



渋澤 健氏 シブサワ・アンド・カンパニー 代表取締役/コモンズ投信 取締役会長

シブサワ・アンド・カンパニー代表取締役、コモンズ投信取締役会長。複数の外資系金融機関でマーケット業務に携わり、

2001年にシブサワ・アンド・カンパニーを創業し代表取締役に就任。07年にコモンズ（現・コモンズ投信）を創業、

08年に会長に就任。経済同友会幹事、UNDP（国連開発計画）SDG Impact 運営委員会委員、等。



新浪 剛史氏 サントリーホールディングス 代表取締役社長

1991年6月 ハーバード・ビジネススクール 修了（MBA取得）
1981年4月 三菱商事 入社
2002年5月 ローソン 代表取締役社長 CEO

2014年5月 ローソン 取締役会長
8月 サントリーホールディングス 顧問
10月 サントリーホールディングス 代表取締役社長（現職）

経済財政諮問会議 議員（2014年～）、経団連 審議委員会 副議長（2018年5月～）、経済同友会 副代表幹事（2020年6月～）、未来投資会議 議員（2020年7月～）も務める。

●モデレーター

酒井 耕一

15:30-16:00

企業講演

テーマ「東京センチュリーとSDGs ～変化を乗り越えよりたくましい社会へ～」



野上 誠氏 東京センチュリー 代表取締役社長

2008年 東京リース（現・東京センチュリー）取締役に就任。2011年に同社取締役執行役員副社長、2015年より日本カーソリューションズ代表取締役社長を

兼務、2020年4月より現職。福岡県福岡市出身。1976年西南学院大学商学部卒業。

16:00-16:30

企業講演

テーマ「ニューノーマルにおいて企業がサステナビリティに取り組むべき理由」



遠藤 理恵氏 セールスフォース・ドットコム 執行役員 サステナビリティ&コーポレートリレーション

1997年日本女子大学人間社会学部卒業。国際協力銀行（旧・日本輸出入銀行）に勤務後、国際交流基金ロンドン事務所にて日本語教育推進を中心とした文化交流事業に従事。帰国後、WFP国連世界食糧計画の日本における民間協力の公式支

援窓口であるNPO法人国連WFP協会にて世界の飢餓と貧困の撲滅に向けて企業・団体とのパートナーシップ構築に取り組む。

2007年5月、セールスフォース・ドットコム入社。社会貢献活動とビジネスを統

合した1-1-1モデル（株式、従業員の就業時間、製品の各1%をコミュニティに還元）を推進する社会貢献部門責任者を経て、2019年2月より現職。日本国内におけるサステナビリティ戦略の策定・実行を主な役割とする。

16:40-18:00

クローキングセッション

テーマ「私たちの目指す社会、SDGsの視点から ～コロナ後の持続可能な社会～」



蟹江 憲史氏 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授

慶應義塾大学SFC研究所xSDG・ラボ代表、国連大学サステナビリティ高等研究所（UNU-IAS）非常勤教授。北九州市立大学助教授、東京工業大学大学院社会理工学研究科准教授を経て、2015年より現職。欧州委員会Marie Curie

Incoming International Fellow及びパリ政治学院客員教授などを歴任。専門は国際関係論、地球システム・ガバナンス。国連におけるSDGs策定に、構想段階から参画。SDGs研究の第一人者であり、研究と実践の両立を図っている。

日本政府SDGs推進本部円卓会議構成員、内閣府地方創生推進事務局自治体SDGs推進評価・調査検討会委員などを務める。「SDGs（持続可能な開発目標）」中公新書（2020年8月刊行）。博士（政策・メディア）。



石山 アンジュ氏 シェアリングエコノミー協会 事務局長

1989年生まれ。「シェア（共有）」の概念に親しみながら育つ。2012年国際基督教大学（ICU）卒。新卒でリクルート入社、その後クラウドワークス経営企画室を経て現職。シェアリングエコノミーを通じた新しいライフスタイルを提案する活動を行うほ

か、政府と民間のパイプ役として規制緩和や政策推進にも従事。総務省地域情報化アドバイザー、厚生労働省「シェアリングエコノミーが雇用・労働に与える影響に関する研究会」構成委員、経済産業省「シェアリングエコノミーにおける経済活動の統計調査による把握に関する研

究会」委員なども務める。2018年米国メディア「Shareable」にて世界のスーパーシェアラー日本代表に選出。ほかNewsPicks「WEEKLY OCHIAI」レギュラーMC、拡張家族Ciftメンバーなど、幅広く活動。



加藤 史子氏 WAmazing 代表取締役社長/CEO

慶應SFC卒業後、リクルートにてインターネットでの新規事業立ち上げに携わった後、観光産業と地域活性のR&D部門じゃらんリサーチセンターに異動。主席研究員として調査研究・事業開発に携

わる。2016年7月、訪日外国人旅行者による消費を地方にもいきたらせ、地域の活性化に資するプラットフォームを立ち上げるべくWAmazingを創業。



坂本 真樹氏 電気通信大学 副学長 情報理工学研究科 教授/人工知能先端研究センター 副センター長

1998年 東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士課程修了（博士（学術））。1998年 東京大学助手、2000年 電気通信大学講師、准教授を経て、2015年よ

り同大学院情報理工学研究科及び人工知能先端研究センター教授。2020年より同大副学長。人工知能学会理事、認知科学会役員など歴任。感性AI取締役COO。